



安部治郎医師

【問い】5カ月の孫のしぐさが気になり、近くの病院で診てもらったところ、「點頭てんかん」と診断され、すぐに入院となりました。治療は飲み薬が効かず、注射になったところですが。どんな病気なのでしょう。先が見えず、心配です。（女性、56歳）

點頭てんかん

【答え】點頭てんかんでは、

寝入りばなや寝起きに首をカクンと折り曲げたり反らしたりして、同時に腕を上げる発作が見られます。點頭とは、お辞儀する動作を指します。點頭てんかに

による脳障害、脳形成異常などが見られます。一方、発作前の発達が正常でさまざまな検査でも原因のない、特発性というグループは治療効果も医学的な見通しも良い例が多いようです。

治療は内服薬の薬物療法から始めますが、どの薬も効果が見込めるのは25%前後です。効果は1カ月以内に判定。いつまでも発作を抑制できないと、さらに脳障害が生じるからです。

このコーナーに相談したい具体的な症状をお寄せください。採用分について医師が紙上でお答えします。〒650-8571 神戸新聞社文化生活部。下記のファクス番号、メールアドレスでも受け付けます。住所、氏名、年齢、電話番号をお忘れなく。

副腎皮質刺激ホルモンが有効

んのうち、特に「ヒプスアリスミア」という高度な脳波異常が認められるものをウエスト症候群といいます。

発作時の動きは「スバズム」と呼ばれ、群発するのが特徴。さらに一日に何回かスバズムの群発が生じます。大抵は3歳までの乳幼児期に発症します。背景となる病気がある例が多く、新生児期の酸素不足や循環障害

薬物療法が効かなければ、副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）を注射で投与します。42〜87%で発作を抑えられ、効果は高いものの、副作用が問題です。高血圧や電解質（ナトリウム、カリウムなど）の異常、脳の萎縮

など重症になる可能性もあります。免疫が抑制されるので、当院では感染症予防のため入院の上、個室で治療します。日

本てんかん学会のガイドラインでは少量での短期間の投与が推奨されていますが、投与の方法や量は施設によって異なります。

す。ただ、約85%に知能障害が残ります。背景となる病気の影響や、発作が治まらないと脳がダメージを受けるからです。患者の半数くらいは再発しますが、さまざまな治療により改善は見込めます。
（兵庫真医師会、安部治郎）西宮市、県立西宮病院小児科部長
— 金曜掲載 —